

## □ 機能追加・改善内容

No.	項目	内容
1	スマートワイヤレス マネージャ機能	スマートワイヤレスマネージャ機能を提供します。 WWWブラウザから最大50台までのSR-M630AP1、610AP1を集中管理することができます。 ※SR-M610AP1はメンバAPとしての利用のみ可能です。別途、マスタAPとしてSR-M630AP1が必要です。 ※本機能を利用する場合、ご購入時の状態からセットアップを実施する必要があります。 ※CLI運用モードとWeb 運用モード(本機能)では、使用できる機能や最大値に差異があります。 本機能のご利用にあたっては、事前に取扱説明書を確認ください。
2	パケットキャプチャ機能	運用中の通信トラブル等の解析のため、本装置が送受信した特定のパケットデータをキャプチャする機能を提供します。 対象となるパケットは、無線上の接続・認証シーケンスで使用するパケットと、RADIUSサーバとの認証シーケンスで使用するパケットです。
3	IEEE802.1X認証機能改善 MACアドレス認証機能改善	RADIUSサーバから認証成功時に割り当てられたVLAN IDで認証端末を接続可能としました。 (wlan dot1x vlan assign enable、wlan macauth vlan assign enable) ※本機能利用時には一部同時に利用できない機能があります。 ・ProxyARP機能使用時(proxyarp use on)は、本機能を利用するSSIDは無効となります。 ・本機能を利用するSSIDでは、WEP機能(wlan wep mode enable)は設定しても無効となります。 ・本機能を利用するSSIDでは、バンドステアリング機能(wlan band-steering mode enable)は設定しても無効となります。

## □ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.03 ~ V20.04	オートネゴシエーション使用時にフロー制御が設定通りに動作しない場合がある。
2	V20.00 ~ V20.04	IEEE802.1X認証の再認証間隔をinfinity(再認証を行わない)に設定しても、1時間毎に再認証を実施してしまう。
3	V20.00 ~ V20.04	show system informationコマンドの“Startup-config”に表示される日付が、構成定義ファイルの作成日時ではなく、装置起動時に読み出した日時が表示される。
4	V20.00 ~ V20.04	scheduleコマンドが、複数の曜日指定や実行コマンドによって実行されない場合がある。
5	V20.03 ~ V20.04	送信元または宛先アドレスにループバックアドレス(127.0.0.1)を含むIPアドレス/マスクビット数を設定したACL(アクセスリスト)を、フィルタ(vlan filterコマンド)で破棄条件に設定した場合、バンドステアリング情報(show band-steering status)が表示できない。
6	V20.03 ~ V20.04	IEEE802.1X 認証機能を利用する無線認証方式でAES 暗号化固定設定、または192bit 暗号化設定を使用するとIP 通信ができない場合がある。